

戦後20年たちました
私たちの文化は すこやかに
育っているでしょうか
見なおして 考えてみましょう
とくに

伝統的な文化 と 外来の文化
近代的な文化 と 非近代的な文化
社会的な文化 と 私的な文化
の問題などについて

そして 主婦として
子どもの養育者として
働く婦人として
社会の一員として
世論の形成者として

- ☐文化 に 関心を持つ
- ☐社会の動きと 文化の変化との
関連について 正しく理解する
- ☐現在の文化について 選択し
適応する
- ☐良い伝統を受けつぎ 保つ
- ☐新しい文化を 創造する

こうして 文化の向上に貢献し
次の世代に よりよい文化的遺産を
ゆずり 伝えていきましょう

婦人週間とは

昭和21年4月10日に 日本の婦人は
はじめて国会議員を選挙しました この
選挙から婦人も男子と同じく 政治
に参加することになりました

この4月10日を記念して 労働省で
は昭和24年から毎年 その日から一週
間を“婦人週間”として 婦人の地位
をたかめるための運動を主唱してきて
います 今年は その第17回目にあたり
“わたくしたちの文化
——その現状と あすへの課題——”
ということをテーマとしています

このリーフレットの増刷 転載を
希望されるむきは 労働省婦人少
年局 または各都道府県の婦人少
年室に御連絡ください

わたくしたちの文化

—その現状と あすへの課題—

第17回

婦人週間

日本の社会の工業化は 急速に
進んでいます 国内的・国際的交流も
激しくなっています

- 生活物資は 豊富になった
- 外国風な行事や様式 風俗なども
一般的になりつつある
- 乗りものは 多くなり 早くなって
短時間で ゆききできる
- 道路や宅地 工場用地などが
さかんに つくられていく
- 片いなかにも スーパー・マーケット
喫茶店などが あられる
- 内外の すぐれた音楽や美術も
身近かに鑑賞できる
- 世界の できごとを すぐに
知ることができる

このように 都会でも農村でも
生活の内容や環境が 近代化し
楽しみの面も ひろがってきました
しかし
混乱やアンバランスも いろいろと
目立ってきています

いま 私たちのまわりに このような
ことは ないでしょうか

- 新しいもの きれいなものを
目につくままに 買いこむ
- 家族や友人との ゆとりのある
あたたかい交わり が ない
- 家庭で 社会で 秩序やマナー
いたわりあい が たりない
- よい点数 有名校 などに気をとられ
子どもの個性を 考えない
- へんな みなり 言葉 が はやる
- 家庭や地域の よい伝統や行事
文化財を 大切に思わない
- 生活の運びに 自分の創意を
生かすことを 考えない
- 自分の家は きれいにするが
公共の場所を汚して 平気にいる
- 自然の破壊や 騒音 ばい煙 混雑
事故などで 生活に やすらぎ や
安全が 保たれない

こうして 私たちの 文化は
そこなわれてきて いないでしょうか

文化 とは

人々の生活を より楽しく
心豊かにするための
くらし の 設計であり
社会の あり方 であって
人類の 努力の結晶です
それは
人々が 昔から 生活に
つみ上げてきたもの
さらに その上に
私たちが 新たに つくり出して
いくもの で
物質的文化
精神的文化
社会的文化 の
すべてを含んでいるものです

具体的には

生活様式 風俗・慣習
マナー レクリエーション
マスコミ 教育 伝統
道徳 科学・技術 芸術
社会環境 などの
あり方 と いえましょう